

平成14年12月12日  
原子力安全対策課  
(14-95)  
<22時00分資料配付>

敦賀発電所2号機の原子炉手動停止について  
(高圧タービンケーシングカバー保温材からの発火)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格出力116.0万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、主タービンNo.2軸受けから軸受け油が漏れ、同軸受け付近の高圧タービンケーシングカバー保温材に漏れた油が染み込み高温配管で過熱されたことにより、12月12日19時30分頃、発煙が生じた。

このため、直ちに当該部分の保温材の取り外し作業を行っていたが、19時39分、当該部から発火した。このため、直ちに簡易消火器で消火した。

その後、20時51分に同保温材が再発火したため、20時55分に原子炉を停止することを決定し、21時00分、原子炉を手動トリップした。

21時25分現在、火は出していない。

なお、この事象による周辺環境への放射能の影響はない。